



人形劇や英語の歌遊びに大はしゃぎ

「スキップ」スペシャルおはなし会

図書館ボランティア「スキップ」のスペシャルおはなし会が10月29日、町図書館で行われ、子どもら50人が参加しました。

いつもは絵本の読み聞かせだけが行われていますが、今回は人形劇『メリーさんの羊』やALTのゲームによる英語の歌遊び『ロンドン橋落ちた』なども行われ、子ども達は歌遊びでは大はしゃぎし、本の読み聞かせや紙芝居となると集中して話に聞き入っていました。

親子で楽しむ音楽のひととき

親子で遊ぼう音楽セラピー

0歳児～2歳児の子とその保護者を対象とした「親子で遊ぼう音楽セラピー」が10月25日、子どもセンターなかよしで開かれ、親子12組が参加。「音楽セラピー樹音」の村井孝子代表ら3人から様々な歌や楽器を使って親子で楽しめる遊びを教わりました。

「どんぐりころころ」や「夕焼け小焼け」の歌に合わせて手足を動かしたり、「おもちゃのチャチャチャ」に合わせて鈴を鳴らしてみたりなど、歌に音楽に親子で最後まで楽しみました。



接戦が繰り広げられたラムネ早飲み大会



大勢が並んだ野菜の詰め放題

うまいものとイベントを楽しむ

第43回大雪まつり

第43回大雪まつりが10月9日、屈足公園で開かれました。

例年行われている大人気の野菜詰め放題には、開始前から長蛇の列ができており、参加者は袋いっぱいにかぼちゃ、じゃがいも、にんじんを詰め込んでいました。参加者はどう料理しようか考えながら笑顔で会場を後にしました。

会場の中では、アトラクションとして巨大すべり台、岩佐彰 with ♪ super sessionのライブもあり、ステージでは、ラムネの早飲み大会と松坂まり子さんの演歌歌謡ショー、onちゃんのおはよう体操が行われました。ラムネの早飲みには、小学生10人と大人10人が参加し、それぞれ2組に別れて競争がスタート。接戦が繰り広げられ、各組の1位には新得そばの詰め合わせが贈られました。松坂さんの演歌ショーでは、観客が歌に合わせて踊る場面もあり、一緒に盛り上がりました。onちゃんのおはよう体操では、子どもから大人まで50人以上がステージ前に集まり、盛り上がりを見せていました。

話題のアルバム

利用者に手話の歌を披露

にこにこクラブがやすらぎ荘を慰問

町社会福祉協議会の高齢者サークル「にこにこクラブ」(小関アツ子会長)の会員20人とボランティア10人がやすらぎ荘(高畑訓子施設長)を訪れ、利用者50人を前に手話の歌を披露しました。

同サークルでは、毎月3回練習を重ね、「みかんの花咲く丘」、「花かげ」、「星影のワルツ」、「ふるさと」の4曲を披露し、「ふるさと」では、利用者と一緒に手話を行いました。

利用者は知っている歌となると一緒に楽しそうに手話を行っており、最後の歌が終わると笑顔でサークルの会員らと握手をしていました。



2年ぶりのコンサートに多くの観客

あさみちゆきコンサート

あさみちゆきコンサートが10月20日、屈足総合会館で開かれ、約100人の観客が集まりました。

コンサートでは、デビューのきっかけとなった「港のカラス」や今年誕生日の人たちに向けての「娘から愛を込めて」などオリジナル曲を含めて十数曲を熱唱。2年前に作ると約束していた「新得町の歌」を歌うと会場は一層の盛り上がりを見せていました。

あさみさんは「新得町のみなさんに少しでもパワーを届けられるように歌う」と話し、観客は掛け声をかけたりと一緒に盛り上がり、十分にパワーをもらったようでした。

指示を守って迅速に避難

新得保育所総合避難訓練

新得保育所総合避難訓練が10月12日、同所で行われ、出火から通報、避難指示・誘導までの流れを確認しました。

今回の避難訓練は、給食室から出火したと想定し、園児は防火頭巾をかぶり、ハンカチをしっかりと口に当て、先生の指示に従って迅速に避難を行いました。年長(ぞう組)は防火服を着て放水体験も行ったほか、年少～年長までは煙が充満した部屋を歩く体験も行い、視界の悪さや歩きにくさを体感しました。また、消防車の試乗体験も行われ、搭載されている道具に興味津々でした。

訓練後には、消防署の児玉亮司令補への質問タイムが設けられ、年長の3人からはしご車や消火、消防職員の数について質問があり、児玉さんは一つひとつの質問に丁寧に答えていました。

最後に、女性消防団員から、紙芝居「みんなのひなんくんれん」の読み聞かせが行われ、避難訓練は終了となりました。



防火服を着て放水体験



煙体験の様子